

こんにちは！今年の冬も暖かいですね～。この間の週末は子供と一緒に公園に出かけましたが、日中は20度を超えて半袖Tシャツのお父さんや、下着1枚になって遊んでいるお子さんもいました！とはいえ、年末から数回、大きな寒波もありましたよね。寒波がくると水道管の凍結などトラブルが増え水道屋さんは忙しいのです。今回はAWSからご家庭の水道についてのアレコレをご紹介します♪



TOPIC

水漏れの調査ってどうやるの??



コレを使っています。
「音調棒(おんちょうぼう)」
っています!

水道料金が急に高くなったのに、思い当たる節もない。。。どこから水が漏れているのかも??という、ご家庭からの調査をお願いされる事があります。今回はそんな「漏水調査(ろうすいちょうさ)」についてです♪

どんなお宅にもある水道。地面の下を通過して敷地内を配管され、建物の中に入ってから洗面所、お風呂、台所、トイレなど水を使うそれぞれの場所まで配管されていますよね。その中から水漏れの箇所を特定する事は、実はとても難しいんです。

最初に行う一般的な調査方法は、左の写真で使用している「音調棒」というものを使います。金属の長い棒を蛇口や管の見える部分に当て、反対側を耳に当てて水の音を確認します。水が流れていると音がするので、その付近で水漏れがある可能性が高いです。でもこれで水漏れ箇所が特定出来ればめっちゃラッキー♪分からない事も多いです。見えている箇所で見つからなければ、隠れている部分からという事になりますね。

見えない部分はいわゆる「消去法」です。建物手前に止水栓をつけて屋内の水を止めます。それでもメーターが回ってれば水漏れは屋外。止まれば屋内。といった感じで漏水箇所を少しずつ絞りこんでいきます。屋外の配管位置がわからなければ地面を掘り返す事になるかもしれません。そうなるとかかなり大がかりな調査です。生活に欠かせない水だからこそ、きちんと管理しながらトラブルなく使用したいものですね♪



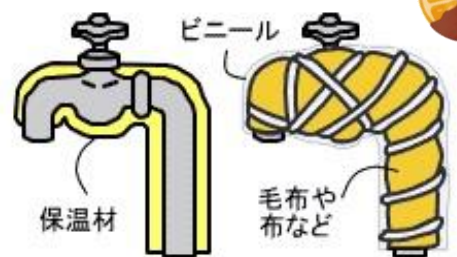
水が流れると
銀色の円盤が
クルクル回ります。

これが水道メーターです。敷地に入っ
てすぐの所にありますよ!水を使ってい
ると銀色の円盤が回転します。
水を使っていないのに回転していけら
どこかで水漏れしているかも?



寒波の前は水道管破裂対策をしよう💡

水道管の中の水は-4℃より下がると凍り始めると言われています。最低気温が-4℃を下回る寒波。岡山でも年に数回ありますよね。屋外にある蛇口や管は、凍結すると中の水がふくらんで管が破裂する危険が高いです。天気予報で寒波がきそうな時には、予防策として右の図のように管を保護して凍結を防止しましょう!タオル・ビニール袋など家にあるものでも簡単に出来るんですよ。寒波時は水道屋さん混み合い、修理に時間がかかる事も多いです。生活の知恵として覚えておいて損はないですよ~(*'▽')b



※画像は岡山市水道局HPより。水道局のHPではもっと詳しい処置方法も掲載されています。